

かけはし

中国残留日本人支援団体

コスモスの会だより 第4号 2013. 5. 20

編集発行：コスモスの会広報部 〒661-0953 尼崎市東園田町4丁目152-16 TEL：06-6493-5563 FAX：06-6493-0817

スタッフの横顔

今回は尼崎日本語教室開設時より活動されている藤家みさおさんに話を伺いました。
生粋の神戸っ子
藤家さんは神戸生まれで8人きょうだい(6人姉妹と兄弟2人)の7番目です。
女系家族でもあり、女子校(中高6年間)に通い、自然と女性的なもの、料理、お花、お茶、編み物などへの興味を持つようになり

中国の旅

シリーズ①



瀋陽駅(旧奉天駅)。辰野金吾設計の東京駅をまねて1910年に建てられた。

瀋陽(奉天)

9・18、私は中国の取材を始めるまで、この数字に気づかなかったです。しかし、中国人なら誰でもこの数字の意味を知っている。
1931年9月18日、それは満州事変の始まった日である。中国でそれは最も屈辱の日とされている。瀋陽に3年前の8月に初めて行った。瀋陽は東北三省の中で最大の都市である。満州国時代は奉天と改称されていた。日露戦争の時、05年2月3月の間、この地でロシア軍と日本軍、合わせて60万

ました。神戸育ちなので子どもの頃から違和感もなく外国語や外国文化に接する機会が多く、中国についての興味もあり、自然な感じで地元の外大の中国学科に入學し、卒業後も洋書関係の書店で働きタイプライターも叩いていました。
残留孤児のこと
子ども達もそれぞれ結婚・独立し、落ちついた頃でした。残留孤児裁判を支援していた中学時代の友人に中国残留孤児の日本語教室が開設されるので、

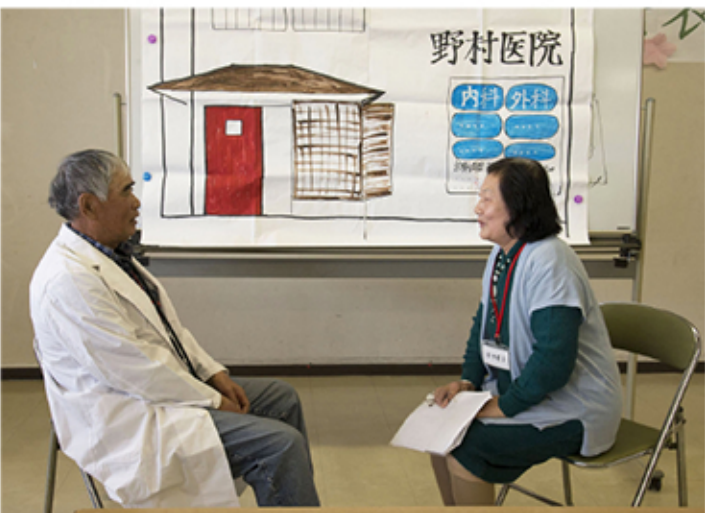
そのサポートをしてほしいと頼まれました。当初は神戸の岡本教室でしたが、08年4月、尼崎日本語教室が開設される時、写真展で知りあった宗景さんに中国語のできるスタッフとして乞われ、高橋秀子さんと共に立ち上げに参加しました。
出合いが生きがいに
藤家さんは料理など多彩な趣味を持ち、文化教室のスタッフもしています。今の気持ちを次のように語っています。「日本語学習支援をとおして学習者と

共に喜びや楽しさを共感し、元氣も一杯もらっています。これからも人との出合い、つながりを大切に育んでいきたいです」
気軽にふれ合う場所を
今後の希望としては「残留日本人と支援者たちが学習活動以外に、いつでも気軽に自由に集まり、お茶を飲んだり話ができるような交流の場所を確保できないだろうか。そしてそこが地域の人もとも触れ合う場所になればと思っています」。



9・18歴史博物館。柳条湖事件当日に破り捨てられたカレンダーを模したデザインである。
橋脚を爆破し、張作霖を爆殺した。さらに閔東軍は31年9月18日瀋陽郊外の柳条湖付近で線路を爆破する事件を起こした。これを張学良の東北軍の仕業として軍事行動に移り、中国東北全域に軍を展開した。そして約5ヵ月間で東北全域を制圧した。
瀋陽、この地は日本がその後、日中全面戦争、太平洋戦争へと破壊への道を進む発端であった。
(宗景 正)

緊張と感動の発表会



牡丹G 寸劇「病院で話す会話」
医者役は昌谷範茂さん、患者役は田中栄子さん。

尼崎日本語教室パワー全開

今年の春は、寒暖の差が激しく、早々と咲き始めた桜も咲いていいのかわからないような3月26日に、尼崎日本語教室の第4回学習発表会を開催しました。
会場には、学習者が文化教室で作った作品の数々と、一年間の活動の様子を紹介する写真が展示されました。
今年も三つのグループが一年間の成果を発表しました。



文化交流教室の作品(撮影 石井康男さん)

普段の授業を
牡丹G
最初の牡丹グループのテーマは「普段通りの授業をそのまま見てもら

う」です。まずは、口の体操「あいうえおのうた」で自己紹介です。「早口言葉」と「病院での会話」では言葉の意味の理解を助ける寸劇をいれて楽しく演じました。そして、日本語と中国語で歌った「草原情歌」の後、「雨にも負けず」の詩に日本語教室への思いを入れて朗読しました。
一人ひとりが自分の持ち場に責任を持ち、緊張しながらもおおいに楽しむ牡丹グループの姿を披露しました。
狂言風寸劇に挑戦：
梅G
梅グループは「大いなるチャレンジャー600年もの昔の言葉にふれてみよう」と狂言風寸劇「食道楽」を演じました。練習を始めた頃は、昔の難しい言いまわしと、「花より団子」や「目から鼻に抜ける」などの山ほど出てくる慣用語に戸惑っていました。しかし、練習を積み重ねる中で、普段の会話に「こさる」をつけ、面白がるまでになりました。本番では、大名と目、耳、口、鼻、胃袋、心などの各パーツを楽しく演じ切りま



梅グループの学習者を支援する藤家みさおさん

元氣で明るい笑顔で話す藤家さん。今後の交流の場づくりに向けてパワー全開です。
(杉本利一)

あんな話、こんな話

中国語の文字で「勉強」というのは、どんな意味なのでしょう。実は無理を強いることではないかと、ちなみに、
日本語の勉強は、中国語で「学習」と表現します。
漢語的：勉強、是什么意思、你知道吗？
其实是不乐意的意思。附带说一下，日本的勉強用汉语说的话是：学习。



狂言の台本を手に、梅グループ

最後のバラグループは、「私の伝えたいこと」をテーマにして、各人が作文を書き、3分間にまとめて発表しました。
内容は様々で、中国での苦勞を語る人、養父母に優しく育てられたと感謝する人、帰国後の頑張りぬいた生活を語る人、日本語で孫に絵本を読んでもやりたいと言う人、ここが私の心臓だと尼崎ですと誇らしげに宣言する人、孫とふれあいを楽しいエピソードを交えて紹介する人、美しい日本語を話したいと訴える人、物忘れが多くなり、検査で休んだが、またこの教室に戻ってくることでうれしいという人、病気で弱気に

なったがこの作文を書くことで、もう一度元の職場で頑張ってみたいと思えるようになったと発表した人など。発表者全員が、今、一生懸命生きてその姿を生きた文章にして発表しました。会場には、発表を聞き、涙をこらえる人の姿も見られました。
まさに、学習者とスタッフが信頼し合って作り上げた発表会でした。緊張の中でやりきった達成感、また始まる新しい一年のエネルギーを引き出してくれることでしょう。
また、ゲストとして、



南京玉すだれの熱演 三好良子さん

南京玉すだれを披露いただいた三好良子さん。78歳の熱演でとてもパワーをいただきました。感謝！感謝！
(神田真佐江)

ご案内

「コスモスの会」日本語教室は毎週火曜日、午後1時から3時まで、尼崎市中心公民館で開催しています。受講を希望される方、ボランティアとして参加に関心のある方、ご連絡下さい。
連絡先
06-6493-5563
宗景(むねかけ)まで

編集後記

1年の総仕上げ「学習発表会」が、3月末に無事終わりほっと一息。
新たな気持ちで新年度スタートしましたが、季節は早や若葉美しい五月となりました。
「コスモスの会」では、年々行事が増加し、「かけはし」を通して少しでも多くの活動情報をお届けしようとしています。
今回も、あれもこれも載せたいと原稿がなかなか整理しきれず、発行が予定より一ヶ月近く遅れてしまいました。
日中関係は依然として緊張状態が続いています。二つの祖国を持っている中国残留日本人の皆さんは、人一倍に両国の友好平和を望んでいます。
「コスモスの会」をはじめ、各地で行われている中国残留日本人支援活動が、友好のかけはしの一助になればと願っております。